

- 日 時：2023年5月16日(火) 午後6時から午後8時まで
- 会 場：名古屋プレミアホール 403AB 会議室
- 出席者：大塚、廣田、横井、小縣、近藤、河村、岡田、大下、新家、若松、大家、神谷、渡邊、後藤^春、家子、戸川、石川、大津、中西、守屋、縄田、石原、後藤^圭、桑村、脇坂、柴田、奥村、鬼頭
以上 28 名
- 委任状：高垣、杉浦、西川 以上 3 名
- 欠 席：－
- 陪席者：事務局員【竹島、岡本、今井】

司 会：小縣専務理事

1 開 会
2 挨拶【大塚会長】

本日の御出席に感謝申し上げます。Vリーグの新リーグ設立などな話題があるが、コロナ禍が収束し学校スポーツや地域スポーツが本格的に動き始めている。今後多くの活動がコロナ以前の状態なると予想される。それにともないコロナ禍とは違う、新たな協会運営が求められると考える。引き続き協会の振興のため、皆様の御協力を賜りたい。

議 長：近藤副理事長
議事録：事務局【竹島、岡本】

3 審議事項

- (1) 2022年度中期経営計画中間評価【小縣専務理事】 第1回予算委員会資料 P1
資料にて説明する。
中期経営計画は、最終的に2024年までを目標にしている。

【これについて諮り承認】

- (2) 2022年度運営基本方針報告【小縣専務理事】 第1回予算委員会資料 P3
資料にて説明する。

- ア U14クラブチャンピオンシップ男女大会を指導普及委員会が主管で開催し、必要な大会と認識した。ガバナンスは、継続課題とする。
- イ 財政の安定化は、収支バランスを整えるために参加費を改定した。
- ウ 法人化後2年となるが、事務局体制を整えることの重要性を認識した。
- エ マンパワーの発掘も難しい課題と考えるが支える人たちへの必要性を感じた。

【これについて諮り承認】

- (3) 2022年度事業報告【大下事務局長】 第1回予算委員会資料 P4～13
資料にて説明する。

【これについて諮り承認】

- (4) 2022年度収支報告【大下事務局長】 第1回予算委員会資料 P14～22
資料にて説明する。

「事務局費」の名称は残し、事務局が関わる収支は「庶務」の名称を使用する。

【これについて諮り承認】

- (5) 2022年度正味財産増減計画書(決算書案)【大下事務局長】 第1回予算委員会資料 P24
資料にて説明する。

- ア 予算編成時に約500万円の損益を計上したが、特別会計の収入により約100万円の損益となった。
- イ 特別会計の収支は、課税等あり収益も限られる。やはり一般会計の収支が重要だと考える。

【これについて諮り承認】

- (6) 2022年度貸借対照表【小縣専務理事】 第1回予算委員会資料 P25

- (7) 2022年度財産目録【小縣専務理事】 第1回予算委員会資料 P26

資料にて説明する。
今後は、資産運用が課題と考えている。

【これについて諮り承認】

(8) 2022 年度監査報告【奥村監事】 第1回予算委員会資料 P27

- ア 5月2日に専務理事、会計、公認会計士、監事2名で監査を実施した。
- イ 適正かつ正確に処理されていることを報告する。

【これについて諮り承認】

(9) 2022 年度役員選出委員会概要報告【大塚会長】役員選出委員会資料 P1
資料にて説明する。(10) 2023・2024 年度役員(案)について【大塚会長】役員選出委員会資料 P2~10
資料にて説明する。

- ア 物故者の記載があるため訂正の指摘があった。
- イ 役員選出委員会提案は役員であり、委員は報告となる。

【これについて諮り承認】

(11) 2023・2024 年度専従役員(案)について【大塚会長】役員選出委員会資料 P11
資料にて説明する。

【これについて諮り承認】

(12) 2023 年度正味財産増減計画書(予算書案)【大下事務局長】 1回予算委員会資料 P30

7月28日(金)から開催される「全日本9人制バレーボール実業団男女選手権大会」の予算作成から本会支出金を60万円とする。予算は、2023年度の運営方針を表すものであるため、2022年度決算書から予算編成をしたため、仮予算からは変更されている。特別会計は収入もあるが、課税による支出もある。その観点から一般会計の収支が重要となる。損益額から大会参加費と大会運営費の収支もポイントとなる。

【これについて諮り承認】

4 報告事項

(1) 専務理事【小縣専務理事】別紙

ア Volleyball Week in AICHI の取組について

開催主旨、昨年度の振り返りと課題、課題への対処について資料にて説明し、以下の報告及び提案があった。

- (ア) 今年度の反省から参加型及び多くの方が集い参加するイベントとしたい。
- (イ) 本会の維持、継続、発展に資する内容とし、皆さんから御意見を伺いたい。
- (ウ) 参加された方にアンケートをとり、今後にかかしていけばよいのではないかな。
- (エ) 子供から大人までの参加型、SNSを活用した広報宣伝、ジュニア層を意識した事業を検討すべきと考える。
- (オ) 試合のほか大会運営も知っていただくのもよいかと考える。
- (カ) 実行委員会に大学生が参加するとキャリアとなるのではないかな。また、SNSを利用しV.LEAGUE選手とバレーボール愛好者とのリアル動画作成も検討してよいのではないかな。

イ コンプライアンス及びガバナンス関連

口頭で報告する。以下の意見があった。

- (ア) 初動が重要で、弁護士含めて外部の方を交えて対応することも検討すべきと考える。
- (イ) 法人としての対応が課題である。

ウ 専務理事勤務状況

別紙にて報告する。

(2) 選考委員会【大下事務局委員長】理事会資料 P

2022 年度一般社団法人愛知県バレーボール協会表彰団体・表彰者選定 第1回理事会資料 P1
資料にて報告する。

(3) 財務検討委員会

第1回概要報告【岡田委員長】 第1回理事会資料 P2
資料にて報告する。
参加費改定の審議を進める。

(4) 事務局【大下事務局長】

以下の内容を資料にて報告する。

- ア 代議員の確認について 第1回理事会資料 P3
- イ 2022 年度総会について 第1回理事会資料 P4~5

- (7) 総会実施要領は、専務理事及び事務局長、監事による議案提案とし、最後に専務理事報告を実施する。
- (4) 専務理事の報告内容は、一任をお願いします。
- (5) 表彰要領も一考したい。

ウ 2023 年度理事会及び予算委員会日程 第 1 回理事会資料 P 6

(5) 競技委員会【家子競技委員長】

- ア 新型コロナウイルス感染症が、2 類から 5 類への変更にもなう大会運営を口頭で報告する。
- イ 後日、文書を配布する。

(6) 指導普及委員会【石川委員長】

第 1 回理事会資料 P 7

資料にて説明する。

ア バレーボール教室

- (7) 実施会場の関係から参加者を 60 名、指導者を 10 名に変更した。
- (4) 6 月以降は、参加費も 5 回 1 タームで徴収する。

イ ビーチバレーボールクリニック

資料にて説明する

ウ 日本スポーツ協会公認バレーボールコーチ 1 養成講習会

指導者マイページから申し込むことを関係者へ周知してほしい。

(7) ヤングクラブ専門部【桑村専門部長】

- ア 2023 年度ヤングクラブバレーボール連盟の新規加盟と動向について別紙にて報告する。

- (7) 44 チーム登録し新規登録チームが 14 チームあり、愛知県中総体に参加意向で登録したようである。
- (4) U14 カテゴリー層の活動機会等を協会として検討することを要望する。

イ 今後のヤングクラブ連盟所属チームから中小体連主催大会への出場決定に至る運営(会場、予算など)について

今年度のヤングクラブ連盟所属チームの愛知県中総体への出場に関して以下のような質問、意見、や要望等があった。

- (7) 登録に関する課題：日程又はチームへの周知及び愛知県中総体へ出場するためのヤングクラブ連盟への登録の認識
- (4) 大会開催日程及び主催に関する課題：大会主催は、ヤングクラブ連盟又は一般社団法人愛知県バレーボール協会どちらか。
- (5) ヤングクラブ連盟と愛知県中小体連バレーボール担当者との協議の必要性
- (6) 愛知県中小体連盟発出文書内「地域スポーツ団体等は県レベルの競技団体からの推薦によって選出する」の「県レベルの競技団体」がヤングクラブ連盟又は一般社団法人愛知県バレーボール協会であるのかの解釈の相違

(8) ママさん専門部【柴田専門部長】 資料なし

2023 年度の関東ブロックから全国ママさんバレーボール連盟への登録が減少し、山梨県及び埼玉県のみ登録された。関東ブロックでの活動が困難とのことで山梨県が東海ブロックに加入することになった。東海ブロックとして大きな変更はない。東海ブロック各事業に山梨県が参加される。今後 5 県で協議し、決定事項はその都度報告する。

5 次回理事会

- (1) 日時 2023 年 7 月 4 日(火) 午後 6 時 30 分から午後 8 時 30 分まで
- (2) 会場 丸の内アレックスビル会議室 *第 1 回理事会会場と異なります。

6 退任者御挨拶

【新家事業部長】 1 期 2 年担当した。皆さんの御協力が無事果たすことができた。後任は、長谷川太一氏である。

【家子競技委員長】 5 期 10 年担当した。大会運営等各支部、各専門部の皆さまの御協力に感謝申し上げます。後任は、近藤努氏である。

【中西実業団専門部長】 1 期 2 年勤めさせていただいた。実業団連盟役員としてバレーボールに関わっていく。後任は、水腰義雄氏である。

【柴田ママさん専門部長】 3期6年間担当した。コロナ禍の中、試行錯誤しながら大会運営を行い、協会の皆さまから様々なアドバイスをいただき感謝申し上げます。今後もママさん専門部及びママさんバレーボール連盟をよろしくお願いいたします。

7 挨拶【横井副会長】

【横井】 退任される理事皆さん本当にお疲れ様でした。改めてV. LEAGUE への御支援に感謝申し上げます。皆様の御支援により、今シーズンはV. LEAGUE 及び黒鷲旗と優勝させていただいた。中学生の頃、大塚会長や小縣専務理事と同じように名古屋市内でバレーボール部に所属していた。当時110校程度の男子バレーボール部が、現在では20校に減少をお聞きしたが、さらに16校まで減少したと聞いている。指導者課題等が難しい点もあるが、ダイバーシティインクルージョンとの観点から活動したい子どもには活動機会を提供できないかと思う。ウルフドッグス名古屋のバレーボール教室も募集後すぐに定員が埋まるほど活動したい子どもたちは多くいる。様々な方を受け入れみんなで仲良く活動することはバレーボールがつなぐスポーツであることからバレーボールを盛り上げることに繋がると感じた。本日の御審議ありがとうございました。